



あのときの常呂・写真館

VOL 68

(1978年)

昭和53年7月11日

集中豪雨被害3億2500万円

▶この日、突然の集中豪雨に見舞われ、町内の広い範囲で大きな被害を受けました。このときの被害を「広報ところ」がまとめているので、下に掲載します。また、被害の具体的な状況は、次ページ以降に写真で紹介します。

第228号

昭和53年8月1日発行 (2)

広 報 と こ ろ

悪夢の4時間半、

集中豪雨が町を直撃

被害総額 3億2,500万円



七月十一日、にわかに襲った集中豪雨は、町内各所に大きな被害を与えました。
午後二時半、それまで快晴だった空もようが一変し、雷鳴とともに大粒の雨が滝のように降り始め、午後六時五十分までに百三十八の豪雨を記録しました。
この雷雨で、市街地を中心に五時間余り停電が続き、市街地を走る国道、道々、町道の各所で、側溝の水がはけきらず、歩道を越えて住宅や店舗に浸水する所が出ました。また、岐阜と朝日では、鉄砲水により道路が流出。畑では、麦が倒伏するとともに、共立や豊川を中心に降った。ビヨウで、

豆や玉ねぎの葉がズタズタに裂けるなど農作物にも大きな被害が出ました。
町では、職員を緊急配備し、浸水箇所に土のうを積み重ねるとともに、排水ポンプを借り上げ、排水作業を急ぐ一方、道路などの決壊箇所

この豪雨で、農業関係は麦類を中心に三億一千二百一十九万六千円、土木関係では千三百二十五万円の被害を受けました。
町では、災害復旧事業の認定を受け、早急に道路の復旧を行う予定です。
今回の豪雨で家屋の浸水に会われた方々に対し、心より御見舞い申し上げます。
災害状況は次のとおりです。
(一)人的被害 軽傷一件 一名
(二)家屋被害 床上浸水六世帯 二十四名、床下浸水四十六世帯 百四十六名
(三)農業被害 麦類六百三十二畝 特用作物百二畝、てん菜二百八十二畝、馬鈴しよ百九十八畝、豆類二百九十八畝、その他五十九畝
(四)土木被害 町道決壊五件、崩落五件、流失二件



流失した岐阜六線道路



*この3枚は、
本通りの道路
全体が冠水し
たようです。



*この3枚は、豊浜の
水産加工場と住宅地
のようす。





*上と右は、末広の旧
国保病院付近のよう
す



*下は、栄町の低地帯
住宅地のようす

